2023(令和5)年度卒業時アンケート

2024(令和6)年6月7日発行

教学IRセンター教務委員会学生生活委員会

2023 (令和5) 年度卒業時アンケート概要

1. 実施名称 2023 (令和5) 年度卒業時アンケート

2. 実施目的 本学の教育満足度、教育全体を通じて身についた能力、本学の施設・設備の満足度、学生生活の経験、実社会において必要と考える能力、今後本学の教育や学生 支援に期待すること、生涯学習に関して本学に期待すること等について卒業時に おける現状を把握するとともに本学の教育改善の参考資料とする。

3. 実施対象者 2023 (令和5) 年度卒業生 108名

4. 実施期間 2024 (令和6) 2月27日 ~ 3月22日

5. 実施方法 Webアンケート方式 卒業式前日説明会の一部時間を使用し、パソコン教室で一斉実施する。 未入力者がいれば、メールでの回答を促す。

6. 回収数(回収率) 回答数64名/卒業者数108名(59.2%)

7. 実施母体 教学 I Rセンター医学教育点検推進室 山岸 秀嗣

8. 協力 教学 IR センター事務局

教務委員会

学生生活委員会

学務部教務課

9. データ管理等 得られたデータは、個人名が特定されない形で、教学 IR センターが管理するデータベースに保管する。データは、個人名が特定されない形で、報告書や獨協医科大学教学 IR センターのウェブページなどで公表する。収集した個人情報は、教学 IR センターにて適切に管理し、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施する。また、本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供しない。

2023 (令和5) 年度卒業時アンケート結果概要

教学IRセンター 山岸 秀嗣

本年度も卒業生に対して、卒業時における本学の教育満足度、教育全体を通じて身についた能力、本学の施設・設備の満足度や本学に期待することなどについて調査を行った。アンケート調査は、2024年2月27日の卒業式事前説明会時の対面および期間を設けて Web アンケート方式で実施した。回答率は59.2%であった。

本アンケート結果について、次の項目に分類し、概要を記載する。

〈ディプロマ・ポリシーに関するアウトカム調査〉

本学の各ディプロマ・ポリシーに対して卒業時における自己評価を測定した。

医学知識・臨床能力・プロフェッショナリズム領域では、90%以上の卒業生が「身についた」と回答している一方で、国際性を身に着け、自らの行動に反映することが「身につかなかった」と回答する学生が、約25%と回答していた。また、卒後臨床研修において求められる臨床技能の修得は、約14%の卒業生が「身につかなかった」と回答している。これは、2022年の結果と比較すると増加しており、新型コロナウイルス感染症による対面授業の中止、臨床実習の縮小化などが要因として考えられた。

<各能力習得に関する調査>

倫理観、リーダーシップ能力、教養・人間性、表現能力、交際化への対応能力、研究能力の 6 領域の習得度についての調査を実施した。その結果、倫理観や教養・人間性の習得度はいずれも90%以上で「身についた」と回答している一方で、医学研究を行う能力 (37.5%)、語学など国際化などへの対応能力 (35.9%)、リーダーシップ能力 (25%)の3つの能力の修得度が低かった。

<6年間の教育に関する評価>

6年間の教育プログラムは建学の精神に則ったものであると80%の卒業生からの評価を受けている。また、各学年の教育評価は低学年に比べて高学年に向かうにつれて満足度が高い。しかし、基本医学科目(物理、化学、生物、数学、など)、ヒューマニズム教育(地域医療早期体験実習、地域医療学、臨床からの学問のすゝめ、など)は、満足度が50%程度であり、特に基本医学科目では18.8%の卒業性から不満足との回答を得ている。満足度が低い領域の理由としては、内容の難易度・医学との関連性がないもの、評価基準の曖昧さ、実施時期などが指摘されている。

<国家試験対策>

卒業生の 57.8%が「満足(非常に満足・やや満足)」と回答している一方で、12.5%の卒業生が「不満足(やや不満足・非常に不満足)」と回答している。不満足な理由しては、卒業試験の出題範囲

や国家試験対策体制の更なる構築を求めるものであった。

<施設・設備>

本学における施設・設備(講義、実習、臨床自習、研究、図書館、パソコン教室、自習室)に関する満足度調査を実施した結果、臨床および研究に関わる施設に対する満足度は、60%以上であった。しかし、学生生活に関わる施設・設備(自習室・学生食堂・体育館・グラウンドなど)に対する「不満足度」が、34.4%と高かった。特に、自習室の拡充、食堂・コンビニエンスなどの増設や、学習環境(空調など)の改善を求める意見が昨年同様に高かった。

<学生支援について>

学生支援(担任・副担任のサポート体制、科目担当者のサポート体制、国家試験のサポート体制、事務局(教務課、学生課)の窓口対応についての満足度を調査した。その結果、全ての項目において 60%以上の満足度が得られた。今後の学習支援として、キャリア教育、クラブ活動の支援、海外留学の支援を求める意見がみられた。

<部活・サークルなどの課外活動>

卒業生の 90.6%で部活・サークルなど課外活動に参加していたとの回答が得られた。また、課外活動 の満足度は 78.1%と高かった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の制限や活動内容 の見直しに関する意見もみられた。

<大学生活全般>

卒業生の 90.6%で、大学生活全般に「満足」と回答している。また、64.1%が本学を卒業すること に誇りを感じており、71.9%が知人や将来の自分の子供に対して獨協医科大学への入学を進めたいという回答であった。

くまとめ>

卒業時アンケートにおいて、本学のディプロマ・ポリシーは、概ね習得されており、教育内容や学生 生活全般に対しても概ね満足度が認められた。今後は、社会的視野や国際性を涵養するような科目の設 定や将来実社会で必要とされるであろう科目(経営・経済学など)の履修設定が望まれる。また、学修 者支援体制の構築や学習環境の更なる整備が望まれるものと考えられた。

2023 (令和5) 年度卒業時アンケート結果詳細

問.以下の項目は、本学医学部の学修成果(アウトカム)です。それぞれの能力をどのくらい身につけ ることができましたか。 ■ (a) かなり身についた ■ (b) ある程度身についた ■ (c) あまり身につかなかった ■ (d) 全く身に付かなかった ■ 無回答 ●人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明 することができる。 25.0 % 68.8 % 4.7 % 1.6 % ●種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。 18.8 % 1.61% % ●卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。 12.5 % 1.6 % 18.8 % ●医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。 1.61% % 28.1 % 68.8 % ●医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することが できる。 31.3 % 65.6 %

●医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と 適切な人間関係を構築することができる。

25.0 % 70.3 % 4.7 %

●医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。 18.8 % ●書籍や種々の資料、情報通信技術〈ICT〉などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。 12.5 % ●最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。 17.2 % 68.8 % ●自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。 18.8 % 7.8 % 1.6 % ●保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。 64.1 % ●医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。 15.6 % ●医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。 18.8 % 6.3 % 1.6 % ●多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。 23.4 %

問. 獨協医科大学での授業や活動を通して、以下の能力を身に付けることはできましたか。

● 医師としての倫理観
● 集団をまとめるリーダーシップの能力
● 豊かな教養や人間性
● 豊かな教養や人間性
○ 自分の意見を筋道立てて表現する能力

■ (a) かなり身についた ■ (b) ある程度身についた ■ (c) あまり身につかなかった ■ (d) 全く身に付かなかった ■ 無回答

●語学などの交際化への対応能力

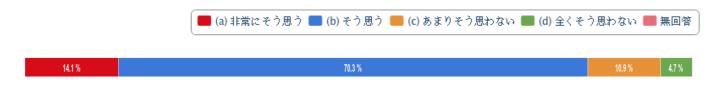
18.8 %

18.8 % 45.3 % 32.8 % 3.1 %

●医学研究を行う能力

10.9 % 51.6 % 34.4 % 3.1 %

問.6年間の教育プログラムは、本学の建学の精神である「学問を通じての人間形成」にあったものでしたか。



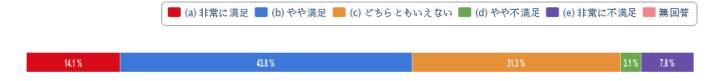
- □獨協医科大学で教育を受けた次の科目に満足できましたか。
- 問. 獨協医科大学で教育を受けた基本医学教育科目(物理・化学・生物・数学、など)に満足できましたか。



問. 獨協医科大学で教育を受けた「語学教育科目」に満足できましたか。



問. 獨協医科大学で教育を受けた「ヒューマニズム教育(地域医療早期体験実習、地域医療学、臨床からの学問のすゝめ、など)」に満足できましたか。



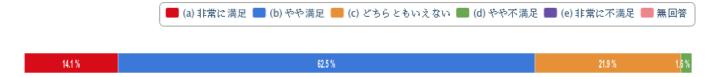
問. 獨協医科大学で教育を受けた「少人数教育(PBLテュートリアル、など)」に満足できましたか。



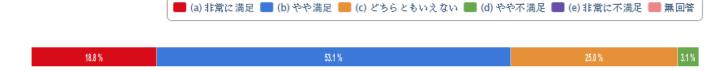
問. 獨協医科大学で教育を受けた「基礎医学教育(解剖、生理学、生化学、病理学、薬理学、公衆衛生学、など)」に満足できましたか。



問. 獨協医科大学で教育を受けた「臨床医学教育」に満足できましたか。



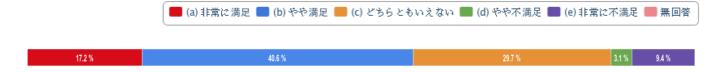
問. 獨協医科大学で教育を受けた「臨床実習教育(CC、ACC)」に満足できましたか。



問. 獨協医科大学で教育を受けた「メディカル・プロフェッショナリズム教育」に満足できましたか。



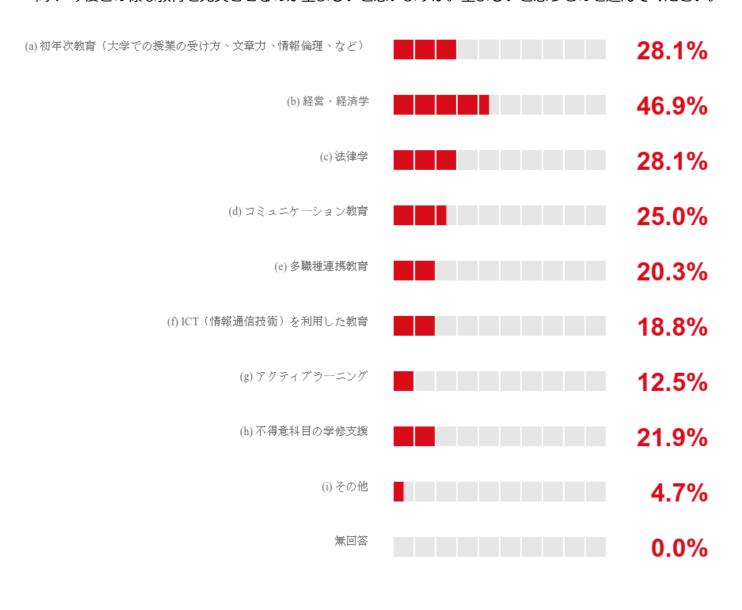
問. 獨協医科大学で教育を受けた「国家試験対策」に満足できましたか。

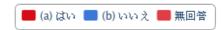


問. あなたの学修において、6年間のカリキュラム構成は適切でしたか。



問. 今後どの様な教育を充実させるのが望ましいと思いますか。望ましいと思うものを選んでください。



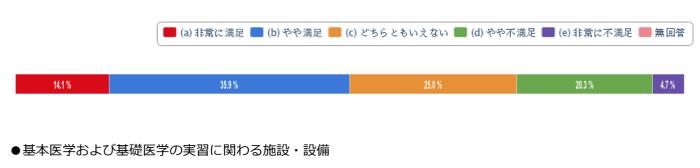


問. あなたは、ミッションカードの存在を知っていますか。

23.4 %

問. 獨協医科大学の次にあげる施設・設備に満足できましたか。

●講義に係る施設・設備(教室環境・音響・空調など)





●臨床実習に係る施設・設備



●研究に係る施設・設備



●図書館・コンピューター室



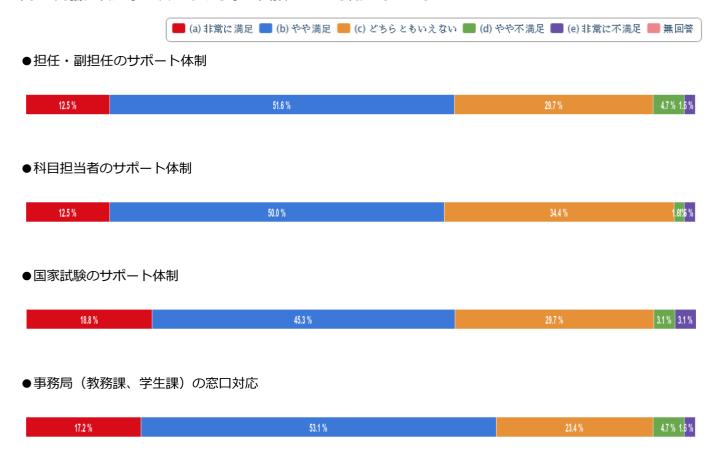
●学生生活に関わる施設・設備(自習室、学生食堂、体育館、グラウンドなど)

14.1 %	29.7 %	21.9 %	28.1 %	6.3 %
--------	--------	--------	--------	-------

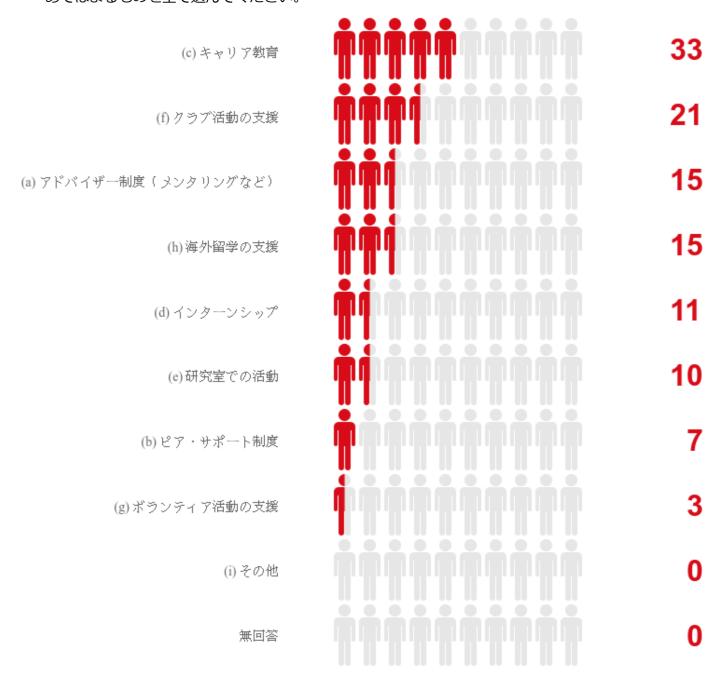
問. 獨協医科大学では、今後、どのような施設を充実させるのが望ましいと思いますか。 あてはまるものを全て選んでください。

(a) 講義室		17
(b) 実習室		13
(c) 肖習室		51
(d) 研究室		8
(e) 図書館		37
(f) 学生ラウンジ		24
(g) 食堂・コンビニエンス		29
(h) 教育機器		12
(i) 研究機器		6
(j) その他		0
無回答		0

問. 獨協医科大学の次にあげる学生支援について満足できましたか。



問. 学生生活を通じての人間形成のために、獨協医科大学が何に力を入れるべきですか。 あてはまるものを全て選んでください。

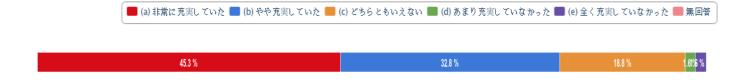


問 . 学友委員会や部活、サークルなどの課外活動を行っていましたか。



90.6%

問. 課外活動は充実していましたか。



問. 大学生活全般を振り返って満足していますか。



問. 獨協医科大学を卒業することに誇りを感じていますか。



問. 獨協医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたいですか。

